公民館報
たかぎ

写真：辻元　健朗「夕暮れのポピー」
題字：桐生　恵利

【第 656 号】
発　行　日　2024年5月15日
発行責任者　喬木村公民館長
林　　司
編集責任者　公民館広報部長
池田　英明
印　　刷　龍共印刷株式会社

区で盛大に開催

ました。天気にも恵まれ、同じ地区の仲間同士で

れた中で披露する大胆な舞やお囃子に、大勢の人

富田区

富田　下の宮　屋台

富田　上の宮　屋台

大和知区

大和社にて神事・餅投げ

伊久間区

伊久間諏訪神社　獅子舞

加々須区

大宮諏訪神社　加々須獅子舞

大島区

大島神社　神事

氏乗区

宇治三柱神社　神事（昨年度のもの）

春季祭典　各地

阿島まつりを皮切りに各地区で春祭りが開催されわいわいお祭りを楽しむ姿が印象的でした。

一方で、地区の伝統の継承者として緊張感に包ま達が魅せられました。

阿島区

北　旗枠

寺の前　演奏披露

帰牛原　神事

郭社（西の宮）神事

南　旗枠と自治会長

町　屋台巡行

小山区

韓郷社　獅子舞

諸原社　屋台

韓郷　出発！！

机山社　屋台

令和6年度　本館3部紹介

『ここちよい　つながり』をつくり、それを広げること

本年度の公民館の役割をこのように決め、本館３部で活動を始めています。この目標に向けて実践する中で、地域づくり、人づくりにつながるようがんばっていきます。本館の体制も、編集部から広報部へ、教養部・社会部がひとつとなり文化部へ、体育部がスポーツ部とリニューアルしました。

広報部長
池田 英明です

文化部長
宮澤 八穂です

広報部

これまでも皆様には、お忙しいなか取材協力をいただいておりますこと、心より御礼申し上げます。

隔月の公民館報の発行となりますが、A４カラー版とし、記事も充実するよう、村内各地へ取材にうかがっております。

『村民の皆さん、おひとりおひとりが主役！』をコンセプトに、地域のつながり、人と人のつながりを大切に、『村民の和』を広げてまいります。今後ともご協力いただけますよう、宜しくお願い申し上げます。

＃本館広報部員募集中です

スポーツ部

今年度のスポーツ部事業としては３つ計画しています。

春と秋のスポーツ交流会、そして駅伝大会です。

秋に関しては、種目は決まっていませんが分館対抗での開催を予定しています。

駅伝はスポーツ部のみならず、かつての走ろう会を中心に幅広く実行委員として募り、村発足１５０周年のために盛り上げたいと思っていますので村民の皆様のご協力をお願いいたします。

一年よろしくお願いいたします。

文化部

今年度から、社会部と教養部が合併して、文化部となりました。その初代部長をおおせつかりました宮澤です。

今までもこの２つの部は協力しあってきたので、何の違和感もなく、スタート出来ました。楽遊塾やふるさとづくりフォーラム、長期休みの読み聞かせ、作品展示など、村民の皆さまのお力もお借りして、楽しくやりたいと思いますので、よろしくお願いします！

お世話になりました（退任部員紹介）

牧　内　　恵	（社　会　部）
木　下　　剛	（社　会　部）
大　平　　誠	（体　育　部）
桑　原　健　次	（体　育　部）

●新任部員紹介　スポーツ部　稲葉　翔平

●新主事紹介　中沢　優志

本年４月から公民館でお世話になっています中沢優志（なかざわゆうし）と申します。

公民館に携わり１ヶ月が経とうとしていますが、この間にも多くの方と関わりを持つことができ、公民館は多くの人に支えられていることを実感する毎日です。

今後も、地域の皆様に様々なことを教えていただきながら、少しでもお役に立てるよう頑張りたいと思います。

クラブ・サークル紹介

スポーツクラブ健康麻雀

毎週日曜日午前10時から12時までみんなの広場アスボ内スタジオにて４月から新しく健康麻雀クラスを開講しています。

飲まない、賭けない、吸わない。勝ち負けにこだわるのではなく、参加者同士のコミュニケーションを大切にし、初心者から経験者まで楽しく麻雀に取り組むクラスです。

今はサークル活動として、指導者なしのクラスですが、今後は指導者ありのクラス開講も目指しています。未経験者の方はルールを一緒に学びながら、経験者の方は数多く打っていただいています。

４月現在、定期クラスの定員に達しておりませんので、興味のある方は事務局までお問い合わせください。

よろしくお願いします！ 新任校長・職員紹介

喬木中学校長 就任挨拶

戸谷　良住

「今年度よりお世話になります」というのが一般的なご挨拶となるところでありましょうが、実は私は二年前まで喬木中学校の教頭として三年間勤務しておりました。ということですので喬木中学校の四年目のスタートです。もちろん教頭としてと、校長としては異なるでしょうが、引き続きよろしくお願いいたします。思い返してみると、教頭一年目が終わろうとする頃にあの「新型コロナウイルス感染症の拡大」が始まりました。その後、約四年間もコロナ禍で社会全体が疲弊するとは予想しませんでした。とにかく学校に感染拡大が起きないように戦々恐々としている毎日でした。世間ではＧＩＧＡスクール構想が進み、右往左往している中で、喬木中学校では粛々とできる学びを実践していた印象があります。喬木中学校を去ってみて、いかに喬木中学校はＩＣＴ機器の利活用で最先端だったのかを改めて感じました。その環境の中で、柔軟に適応している生徒たちに頼もしさを感じました。そんな生徒たちと、また共に学べることに喜びを感じ、コロナ禍でできなかった経験ができることを楽しみにしています。できる限りの尽力をしてまいりますのでよろしくお願いいたします。

小・中学校 新任職員紹介

第二小学校

北原　志保
（5･6年担任）

喬木中学校

第一小学校

第19回長野県市町村対抗小学生駅伝競走大会

4月27日に松本市で開催されました第19回市町村対抗小学生駅伝競走大会へ出場しました。

松本平広域公園やまこドーム周辺4区間4・8kmを男女各2名がタスキを繋いで走りました。

青空の下、若き力の奮闘により、昨年の順位から11位ほど上げ、35位（61チーム中）、タイムも約1分近く縮めました。

選手の皆様、また保護者をはじめご協力をいただいた皆様本当にありがとうございました。

■駅伝メンバー　【小学生駅伝】

区　間	性別	登録氏名	備考
1区　1.2km	女子	福澤　翠	喬木第二小５年
2区　1.2km	男子	吉野　陽	喬木第一小６年
3区　1.2km	女子	山越　結菜	喬木第一小５年
4区　1.2km	男子	林　大斗	喬木第一小４年
補　欠	男子	中村　桜介	喬木第一小６年
補　欠	女子	長濱　姫來	喬木第一小５年

【結果】小学生の部　35位　18:11

2区　吉野さん

3区　山越さん

4区　林さん

代表選手のみなさん

令和6年度 分館長の皆様を紹介します!

分館の「わ」
分館活動報告
Vol.5

「令和６年度　分館長紹介」

こんな公民館に…

子どもから
おとしよりが
楽しめる**北公民館**
大澤　高義

縁の下の
加々須公民館
下澤　豊

若々しく元気な
寺の前公民館
松澤　克友

アップアップな
大島公民館
山下　庄一

好きなこの地域を
素敵な地域に
帰牛原分館
東原　髙通

区民全員参加楽しく
氏乗公民館
元島　政好

“アットホーム”な
くるわ公民館
森山　康晴

「新」
大和知公民館
小池　不二男

気楽に参加できる
町公民館
小島　輝男

つながりを大切に
富田公民館
尾賀　博雄

活気溢れる
南公民館
小澤　正典

皆が集まる
伊久間公民館
牧内　照夫

ここちよい
馬場公民館
湯澤　俊和

つながりをつくる
上平公民館
齋藤　武彦

つながる
両平公民館
宮下　正吾

気楽に集まれる
田上川公民館
松島　一彦

喬木村俳句会　卯月句会　詠草

被災の子の重き涙や卒業す　木下　瑞恵
春風や祭太鼓のバチ捌き

名を呼ばれ背筋ピーンと卒業生　矢澤恵美子
肩寄せて微笑む母や九輪草

シルバーカー弾む言葉や春まつり　松島みのり
独り居や祭囃子の春の宵

送別の友の背中や春惜しむ　宮島　高枝
人垣を揺らし暴れる春の獅子

春なれや段々畑花の城　村山たか子
おやこ獅子太鼓の調べ春祭り

菜の花の香に誘われし初蝶や　原　美恵子
おやこ獅子舞に桜も降りかかる

九十を超え振り返る春の雪　西元くにこ
童歌はじけてまろき沈丁花

花の香や杖置き一歩一歩かな　市橋　ヨリ
路地裏に風を連れ来る春祭り

傷癒えて春暁の街瞬けり　松葉　孝子
潮干狩いさみ繰り出す山の子等

白椿落ちて闇夜の深さかな　吉川てる子
街並の廃れし軒を初つばめ

たかぎ短歌会　卯月歌会　詠草

溌剌とグランド駆ける高校球児老いの血潮が湧き立つ思い　市瀬　准子
移り気な空と子どもと春の風足元ひとつタンポポ揺れる　塩澤真由美
今月も短歌の魅力に誘われて素敵な仲間と時を忘れる　内山　貴子
大学に合格したと孫の声涙堪えて「めでとう」いう　和田　京子
在宅にて療養中の友思う雪降り頻る独り居の午後　知久　美子
来るたびに娘らしくなりし孫ネイルしてても気遣い変わらず　小椋　りよ
刻々と迫りくる命受け止めていい顔してた末期の夫よ　木下　寿子
から揚げもおはぎも皆旨かった　孫らの言葉余韻温とし　内山　和子
無益なる戦争やめてと叫ぶ民ガザ・イスラエル停戦はいつ　田中　妙子
花粉症は吾には無縁と思ひしがつひに負けたり目薬の日々　元島　康子
菜種つゆの言葉聞かるるこの日頃牡丹雪降り春は足ぶみ　木林　睦枝
孫抱きに朝飯前に東京へ　リニアの夢逃げ水のごと　福澤　亀人

林　いろはさん　第25回長野県高写連フォトコンテスト　最優秀賞

写真右　「夢想」
写真左　「夏の醍醐味」

今年の1月に長野市で審査がおこなわれた「第25回長野県高写連フォトコンテスト」において24校327点の応募の中から、林いろはさん（飯田女子高現3年・帰牛原）の作品「夢想」が最優秀賞（推薦・信濃毎日新聞社賞）を受賞され、その報告会をおこないました。こちらの作品は、7月末より岐阜県で開催される全国高校文化祭写真部門に出展されます。

林さんは、1年生のときに第29回長野県高等学校写真展において最優秀賞を受賞されており、2年連続での快挙となりました。

作品については、「瞳が映える四隅のハートの色や構図を工夫した」とのことです。

今年度、林さんは卒業学年であり、これまで以上のご活躍が期待されます。

あのとき　このとき

公民館長

「諏訪郡の男性、2500万円被害」

毎日のように新聞に掲載されるだまし取られた金額に目がいく。この日は、60代男性が2500万円、50代女性が1360万円、60代男性会社員が1310万円、30代男性が730万円の計4件。このうち2件は、SNSで見つけた投資関連の広告にアクセスして著名人を名乗る相手から「投資で稼げる」とメッセージを受信し、指定口座に振り込んだ。1件は、やはりSNSを通じて知り合った海外女性のふりをした相手にだましとられた「国際ロマンス詐欺」。もう1件は、「会社から訴えられている。示談金を払わないと裁判になる」などと言われ、指定口座に振り込んだ。

「どこにそんなお金があるんだ？ありえないな。」と思いながらも、だまされる多くの人は60代以上であり、自分自身も60代真っただ中なのだ。自分はだまされるなんてことは決してない！と思い込んでいるからこそ、こういった文章を書いているのだが、果たしてどうなることやら。

こういった詐欺にひっからないために心していること①儲け話には必ず裏がある。②知らない電話番号やアドレスからきたら出ない、開かない。番号やアドレスをすぐに削除。③固定電話に来る勧誘は、話を聞かず「いりません」と言って冷たくして切る。（これがなかなか難しい）

各自の対策を共有してみるのもいいかもしれない。

お知らせ

楽遊塾のお知らせ
川遊びイベント

日にち：7月21日（日）

詳細は、HP等でお知らせします。

自主企画講座のご案内

自主企画講座は「こんなことを学びたい！」「この人の話を是非聞いてみたい！」「こんなイベントを実施したい！」といった村民の皆さんが日ごろ抱いている想いを実現してもらおうと応援する事業です。

応募条件

企画の運営に参加することのできる仲間を5人以上集めてください。

※過半数以内なら村外在住の方が加わっても構いません。

※学生企画で喬木村に還元できる内容であれば5人以下でも応募可能です。

支援内容

講演会・学習会の講師謝礼　チラシ、資料等の用紙・印刷費用　1事業あたり原則5万円まで

締　切

7月末日まで（予算が残れば随時募集します）

お問合せ　喬木村公民館　0265-33-2002

今回の表紙

題字
桐生　恵利さん

3年前に越してきて、自然豊かで温かい人たちがいっぱいな喬木村が大好きになりました。そんな喬木村に感謝の気持ちを込めて書きました。これからも大好きな喬木村で大好きな書道を続けていきたいです。

写真
辻元　健朗さん

夕方のポピーです。陽が傾き、黄砂の霞が橙（だいだい）色の暖かい光になっていました。

ご意見・ご感想　お待ちしています

館報を読んで思ったこと、感想をお寄せください。寄稿も大歓迎です！

喬木村の公民館報をみんなで作っていきましょう！

☎ 0265-33-2002

mail：syakai@vill.takagi.nagano.jp

編集後記

新型コロナが5類移行してから初めての春。村内各地で春祭りがにぎやかに開催されたが、コロナ前と形式を変えた地区も多い。阿島獅子は区外から担い手を集め、お囃子の地区内巡行をやめた地区もあった。

社会通念が変わり、人口減少に歯止めがかからない昨今、過去をなぞるだけが必ずしも正しい継承とはいえない。祭りの意義や本質がないがしろにならない範囲で社会の変化に合わせた柔軟な対応が求められる。

変革期の今こそ、その祭りがなぜ生まれ、先代がどんな思いで繋ぎ残してきたのか、改めて目を向ける必要がある。

また継承とは別に、当時の祭りの姿とその変化を記録することも重要。今月号では各地区の春祭りを取り上げた。本館報がその一翼を担えれば。